

播磨町スポーツ推進委員会だより

# わいわいスポーツ広場

10月4日(土)、大中遺跡公園で「第33回大中遺跡まつり」が開催されました。前日から降り続いた雨の影響で実施できるか心配されましたが、一部内容を変更してイベントを行うことができました。スポーツ推進委員のブースでも地面のぬかるみはありましたが、大きな樹の下でみなさんに「モルック」を体験してもらいました!

モルックはフィンランドのカレリア地方の伝統的なキツカというゲームを元にして1996年に開発されたスポーツだそうです。老若男女障がいの有無に関係なく、皆が共に同じフィールドで楽しめる競技です。もし、機会があれば体験してみてください!!



小中学生の参加が多く、当日はとても明るく和気あいあいとした雰囲気でした。「やったー!」「惜しいー!」「負けたー!」など、どんな結果も受け入れてニコニコの笑顔で活動してくれていました。

子どもたちが大半を占める中で保護者の方も一緒に参加してくださいました。お年寄りの方も加わりスポーツ推進委員も混じってまさに「老若男女」で楽しむことができました!印象的だったのはプロ級(!?)の実力のパパさんに何度も何度も挑む子どもたち。とても楽しい空間でした!!

【スキットル】  
1~12までの木製のピン



【モルック】  
投げる棒のこと  
下手投げが基本



今回、「わいわいスポーツ広場(播磨町スポーツ推進委員会)」として出展させていただきました。今後もこのような活動を続けていきますので、是非見かけた方はお立ち寄りください。



# パラフェス HARIMA2025 スクエアポッチャ交流会

## スクエアポッチャとは？

パラリンピック種目「ポッチャ」を誰もが手軽に楽しめるよう考案されたニュースポーツです。ボールを投げたり転がしたりして、目標となる白いボール（ジャックボール）にどれだけ近づけられるかを競います。年齢や運動能力、障がいの有無に関係なく、誰もが一緒に楽しむことができるインクルーシブなスポーツです。

## 🌟 障がいの有無を超えて交流！ポッチャで笑顔あふれる一日！

### ～パラフェス HARIMA2025 スクエアポッチャ交流会 開催報告～

11月3日(月・祝)、播磨町中央公民館にて「パラフェス HARIMA2025 スクエアポッチャ交流会」が盛大に開催されました。主催者の「ひょうごパラスポーツ指導者協議会 東播磨地域委員会」のもと、地域住民や障がいのある方など総勢77名(健常者46名、障がい者31名)が参加し、交流を深めました。

### 🎵 美しい音色で幕開け

イベントのオープニングを飾ったのは、「インクルーシブな未来を奏でるピアニスト」として知られる末近 巧也(すえちか こうや)さんによるBGM演奏&オープニング演奏でした。末近さんが奏でる心に響く美しい音色は、参加者一同を魅了し、交流会の温かい雰囲気を作り出しました。

開会式では、ひょうごパラスポーツ指導者協議会 東播磨地域委員会の足立副代表と佐伯謙作町長からのごあいさつがあり、インクルーシブな社会の実現への期待が語られました。

### 🔥 熱戦！スクエアポッチャ交流

開会あいさつの後は、いよいよメインのスポーツ交流がスタート。フロアではスクエアポッチャ大会が熱戦を繰り広げたほか、話題のモルック体験会も同時進行で行われました。参加者は、年齢や障がいの有無といった垣根を越え、チーム一丸となって真剣に、そして笑顔で競技を楽しみました。ゲストとして「パラボウリング」黒石あい選手、「STT(サウンドテーブルテニス)」石田大輝選手、明石ポッチャ隊の方々にも参加していただき、一緒になって楽しみました。

参加者からは、「障がいの有無に関係なく一緒に楽しめるのが素晴らしい」「ピアノ演奏も感動的で、本当に楽しい1日になった」といった声が聞かれ、交流会の成功を象徴していました。

主催者は、「この交流会が、パラスポーツの普及と、インクルーシブな地域社会づくりにつながることを願っています」と締めくくりました。



## 東播磨・北播磨地区スポーツ推進委員連絡協議会

7月26日(土)、西脇市市民交流施設オリナスホールにて「東播磨・北播磨地区スポーツ推進委員連絡協議会」が開催され、各地域のスポーツ推進委員や各自治体の生涯スポーツ担当者が集まりました。幸田園子氏を講師に迎え、『ヨガでリフレッシュ』というテーマで講演をしていただきました。

また、本委員会の佐伯隼弥委員が功労者表彰に輝きました。佐伯委員は「これからも播磨地区のスポーツを盛り上げていけるように頑張ります！」と意気込んでおりました。



# 東播磨・北播磨地区スポーツ推進委員連絡協議会

## 女性委員会研修会

10月11日(土)に『令和7年度東播磨・北播磨地区スポーツ推進委員連絡協議会 女性委員会研修会』が開催され、各地域のスポーツ推進委員が集いました。

講師として、兵庫県キンボール連盟 顧問 森井文秋 氏を迎え、『キンボール』の実技体験を行いました。はじめに、基本的なボールをキャッチする、ボールを打つなどの動きを練習しました。その後、市町ごとに分かれてゲーム形式で対戦し、大盛り上がりでした。1位、2位、盛り上げチームには、播磨町の特産品がプレゼントされ、各市町のスポーツ推進委員のみなさんとの交流を深めることができました。



そもそも、キンボールって何？



『キンボール』とは…



1チーム4人、3チームで同時にプレーし、直径約1m重さ1kgのボールを床に落とさないようにチームでキャッチをしていくスポーツです。ボールを打つ際には、「オムニキン！ブラック！」というように、「オムニキン」と相手チームのカラーを宣言する必要があります。どこを狙って打つか、どうすればキャッチできるかなど戦略も多いところがおもしろいです。

詳しくは、『日本キンボールスポーツ連盟ホームページ』をご覧ください。

日本キンボールスポーツ連盟ホームページ



## ファミリー健康体力向上事業地区内伝達講習会

上述しました女性委員会研修会の後に、「ファミリー健康体力向上事業地区内伝達講習会」を行いました。播磨町スポーツ推進委員の高木委員より伝達講習をしていただきました。小学校で行われる「新体カテスト」や地域などで行われている「体力測定」における、測定項目の正式な測り方や記録のとり方などについて、各市町のスポーツ推進委員のみなさんに伝えていただきました。これからも、地域のみなさんにスポーツに慣れ親しんでいただけるように活動していきたいと改めて思えた時間でした。



# パラスポフェスタ in はりま

11月22日(土)に、播磨町総合体育館で“パラスポフェスタ in はりま”が開催されました。記念すべき第1回目の開催に、私たちスポーツ推進委員もお招きいただき、運営のお手伝いをさせていただきました。“パラスポフェスタ in はりま”では、様々なパラスポーツの体験をすることができます。今回体験することができた種目は、「車いすバスケット」「風船バレー」「モルック」「卓球バレー」「サウンドテーブルテニス(SST)」「スクエアボッチャ」「ボッチャ」の7種目です。開会式では、マリンバ奏者の多田駿介さんの演奏やパラダンスチームのダンスを披露していただき、とても温かい雰囲気でのスタートしました。開催中もそれぞれのスポーツで大きな歓声が上がリ、最後までとても盛り上がったイベントとなりました。

多くの人にパラスポーツを体験していただくことができ、とても有意義なイベントとなりました。参加していただいた皆様、本当にありがとうございました。

## 【車いすバスケット】

下肢などに障がいのある選手が専用の車いすに乗って行うバスケットボール競技です。激しい動きと華麗な車いす操作が魅力で、スピーディーな試合展開が特徴です。



## 【風船バレー】

柔らかい風船を使ったバレーボール形式のスポーツです。椅子に座ったままでもプレーできるため、子どもから高齢者、障がいのある方まで、老若男女が一緒に楽しめます。



## 【卓球バレー】

卓球台の上で行う6人制のバレーボールです。椅子に座って、木のラケットで金属球入りのピンポン球を打ち、ネットの下を転がして相手コートに戻します。ボールに金属球が入っているため、音が鳴り、視覚だけでなく聴覚でも楽しめます。



## 【サウンドテーブルテニス(SST)】

音を頼りに卓球台で打ち合うスポーツです。プレーヤーは皆アイマスクを着用するため、視力の有無に関わらず、誰でも公平に楽しむことができます。

